

みやぎ地域づくり交流会

2014年9月1日

発行
みやぎ地域づくり交流会

いま
みんなの
できることを

きずな通信 N014

事務局
宮城公民館内



地域づくりは人づくり、ふるさとづくり

地域づくり交流会

群馬県優良河川愛護団体表彰受賞

河川愛護月間（7月）に合わせ、県と県河川協会は県庁昭和庁舎で優良河川愛護団体等表彰式を開き、みやぎ地域づくり交流会の自然環境部会が行う荒砥川美化事業が、地域の河川で清掃や草刈りを続ける優良8団体に選ばれ表彰を受けました。



近くでは、粕川地区地域づくり協議会の粕川の河川美化事業も表彰を受け、宮城地区にかかわりのある荒砥川、粕川の両河川愛護活動が表彰を受ける結果となりました。



北爪会長と井上自然環境部会長 <<県庁昭和庁舎にて>>

新緑の荒砥川を

笑顔で散策

今年も恒例となった荒砥川満喫会が、6月15日（日）たけのこタワー東駐車場を出発点として、荒砥川沿いのウォーキングコースを中心に行われました。

当日は雨の心配もなく前橋市内から集まった百二十名の皆さんが新緑の荒砥川を満喫しました。また、今年もフラワーパークのご協力で、きれいに咲き誇ったバラなどを見つつ園内を散策し、楽しい満喫会になりました。散策終了後、野草の天ぷらが振る舞われ、子供達の笑顔が絶えない満喫会でした。



さんぼ橋を渡る参加者

みやぎの四季

サロンにて上映



広報委員会で作成した、みやぎの四季の様子や行事をおさめたDVD「ふるさとみやぎ春夏秋冬」が好評を得て各町のサロンにて上映されました。6月には苗ヶ島町にて行い、8月には社協ふれんどのサロンにて上映しました。今後柏倉町と三夜沢町でも上映する予定となっております。20分ほどの時間ですがサロンの始まりなどに今後もお利用いただければと思います。



社協ふれんどのサロンにて

クイズとTシャツ販売で 地域交流 納涼祭に参加

地域住民の交流を図る

みやぎ地区の納涼祭が8月3日に行われました。その中で、エコキャップ回収活動やお菓子の数を予想する。『数当てドン』の他に今年からみやぎ地区のキャラクターをデザインしたオリジナルTシャツの販売のブースを出しました。

今年は、天候にも恵まれ、地元芸能発表や商店が出店。また、恒例の花火大会が行われ、多くの家族連れやカップルで楽しみました。

中学生ボランティア、ボランティアの会、商工会女性部の皆さんの協力により、多くのエコキャップの回収とクイズの応募がありました。中でも『数当てドン』は、ヒタリ賞が出ました。また、Tシャツ販売では、5色のTシャツを販売しました。事前予約販売も含め300枚売上げ、大好評を頂きました。



来場者、関係者のご協力により、多くのエコキャップの回収が出来ました。皆様のご協力ありがとうございました。尚、集計結果は、後で報告したいと思います。



色とりどりのTシャツでブースを飾り、一際目立ったブースになりました。おかげさまで多くの来場者で賑わいました。

緊急告
大好評につき
Tシャツ
販売決定!

今年秋11月2日(日)に開催される第7回みやぎいもん祭りでTシャツの販売を決定いたしました。是非この機会にご購入の検討をして見てはいかがでしょうか? 宜しくお願いいたします。



セゾファミリー きずな劇場 第8話

赤城団 各団

もつすぐ地区 市民運動会ね 楽しみ!!

とくあえすは、ストレッチ体操で体を慣らすでござる

柔軟体操はとても大切な!

いや!

さっせ〜今から 特別のみ!

ひょん!

おれは4個!

ほくは3個!

パン食い競争は 数をきそうじやないよ!

(タイム)

10月5日は市民運動会! みんな来てね!
©みやぎ地域づくり交流会

宮城地区石の伝説 ⑨

苗ヶ島町の夜泣き石(姥石) 県道102号線を北上し、左に大きくカーブする苗ヶ島町原地区を市道に逸れてまもなく、道路左端に安山岩の巨石がある。苗ヶ島七つ石のひとつ「夜泣き石」である。

昔、この付近に赤ん坊と住んでいた若い母親が病に倒れ死んでしまった。赤ん坊は、わが子への未練から石と化した母親にすがり泣いていたが、やがて死んでしまった。それから夜になるとこの石から赤ん坊の泣き声が聞こえるようになったという。

石の正面下方に小さな足跡があり、願をかけると赤ん坊の夜泣きが治るといわれている。今でも御神酒が入った竹筒が供えられていることがある。

石の上の2基の石碑は、戒名らしき文字と江戸後期の年号があるので墓石であろう。夜泣き石伝説は全国各地にあるが悲しい話が多い。

(部会員 五百部 記)